

学校部活動にみる暴力と暴言の実態

スポーツの指導に伴う暴力行為が今般問題になっている。わが国の10代は運動・スポーツの指導を受ける場面でどのような暴力をどれくらい経験しているのだろうか。その実態を探るべく、2013年7月に全国の16～19歳（高校2年生から大学1年生）を対象としたインターネットによる『部活動・サークルに関する調査』を行い、過去1年間に暴力・暴言を受けた経験についてたずねた。

1

暴力・暴言を受けた経験の部活動種別による比較

表1には部活動・サークルにおいて指導者や上級生から暴力・暴言を受けた経験の割合を、運動系部活動（以下、運動部）と文化系部活動（以下、文化部）別に示した。「素手で殴られる」「物で殴られる」「蹴られる」「物を投げつけられる」の暴力行為を指導者から受けた者の割合は文化部で2～3%であるのに対して運動部では5～6%、上級生から受けた者の割合は文化部で1%前後、運動部で2～4%であった。「暴言を言われる」経験については暴力行為よりも経験率が高く、運動部、文化部を問わず指導者や上級生から「暴言を言われ

る」経験のある者は暴力行為を受けた者の約3～4倍であった。

指導者と上級生という暴力・暴言の加害者で比較すると、上級生よりも指導者による暴力的行為を経験している者の割合が高かった。暴力・暴言を受けた経験と部活動種別でカイ二乗検定を行ったところ、指導者からの暴力・暴言についてはすべての行為において、上級生からについては「素手で殴られる」「蹴られる」「暴言を言われる」において有意な偏りが認められ、いずれも文化部よりも運動部において多く経験されていた。

【表1】暴力・暴言を受けた経験の部活動種別による比較

		運動部 (%) (n=559)	文化部 (%) (n=725)	χ^2 値	オッズ比
指導者から (n=1,284)	素手で殴られる	4.8	2.6	4.460*	1.89
	物で殴られる	5.4	2.5	7.295**	2.23
	蹴られる	5.0	2.2	7.488**	2.34
	物を投げつけられる	6.1	2.5	10.524**	2.54
	暴言を言われる	17.7	9.9	16.546***	1.95
		運動部 (%) (n=435)	文化部 (%) (n=598)	χ^2 値	オッズ比
上級生から (n=1,033)	素手で殴られる	4.4	0.7	15.827***	6.78
	物で殴られる	2.1	1.3	0.832n.s.	1.56
	蹴られる	4.6	1.2	11.620**	4.07
	物を投げつけられる	3.0	1.3	3.445n.s.	2.27
	暴言を言われる	12.0	4.7	18.637***	2.76

*: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, ***: $p < 0.001$

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

2

男女別にみた暴力・暴言を受けた経験の部活動種別による比較

(1) 女子

表2に女子において暴力・暴言を受けた者の割合を部活動種別で示した。指導者から受けた4つの暴力行為「素手で殴られる」「物で殴られる」「蹴られる」「物を投げつけられる」の経験率は運動部では3~6%、文化部で2~3%であった。上級生から暴力行為を受けた経験は運動部で1~3%、文化部で1%前後であった。女子においては上級生よりも指導者から暴力・暴言を受ける割合が高い。指導者からの暴言は運動部18.9%、文化部10.3%が経験しており、上級生から受けた割合よりも高かった。

カイ二乗検定の結果、指導者からの暴力・暴言では2項目、上級生からの言動では1項目で有意な偏りが認められ、いずれも運動部が高かった。

(2) 男子

男子では、指導者から受けた4つの暴力行為の経験率は運動部では6~7%、文化部で2.4%であった(表3)。上級生から暴力行為を受けた経験は運動部で3~8%、文化部で1~3%であった。暴言については、運動部では指導者16.3%、上級生16.8%と差がみられなかった。男子では、運動部における「蹴られる」「暴言を言われる」、文化部における「物を投げつけられる」は、指導者よりも上級生から受けた割合がわずかながらも高い。

カイ二乗検定を行ったところ、指導者そして上級生によって「素手で殴られる」「蹴られる」「暴言を言われる」経験が文化部よりも運動部で高い傾向が認められた。

【表2】暴力・暴言を受けた経験の部活動種別による比較(女子)

		運動部(%) (n=296)	文化部(%) (n=555)	χ ² 値	オッズ比
指導者から (n=851)	素手で殴られる	3.0	2.7	0.080n.s.	1.13
	物で殴られる	5.1	2.5	3.799n.s.	2.06
	蹴られる	3.4	2.2	1.134n.s.	1.58
	物を投げつけられる	6.1	2.5	6.755*	2.50
	暴言を言われる	18.9	10.3	12.539**	2.04
		運動部(%) (n=238)	文化部(%) (n=455)	χ ² 値	オッズ比
上級生から (n=693)	素手で殴られる	2.9	0.4	7.629*	6.86
	物で殴られる	1.3	1.1	0.036n.s.	1.15
	蹴られる	2.1	1.1	1.103n.s.	1.93
	物を投げつけられる	2.1	0.9	1.820n.s.	2.42
	暴言を言われる	8.0	4.2	4.371n.s.	1.99

*: p < 0.05, **: p < 0.01, ***: p < 0.001

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

【表3】暴力・暴言を受けた経験の部活動種別による比較(男子)

		運動部(%) (n=263)	文化部(%) (n=170)	χ ² 値	オッズ比
指導者から (n=433)	素手で殴られる	6.8	2.4	4.319*	3.05
	物で殴られる	5.7	2.4	2.763n.s.	2.51
	蹴られる	6.8	2.4	4.319*	3.05
	物を投げつけられる	6.1	2.4	3.262n.s.	2.69
	暴言を言われる	16.3	8.8	5.042*	2.02
		運動部(%) (n=197)	文化部(%) (n=143)	χ ² 値	オッズ比
上級生から (n=340)	素手で殴られる	6.1	1.4	4.622*	4.57
	物で殴られる	3.0	2.1	0.289n.s.	1.47
	蹴られる	7.6	1.4	6.739*	5.81
	物を投げつけられる	4.1	2.8	0.389n.s.	1.47
	暴言を言われる	16.8	6.3	8.369**	3.00

*: p < 0.05, **: p < 0.01, ***: p < 0.001

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

3

オッズ比にみる運動部における暴力・暴言発生の特徴

暴力・暴言の未経験者に対する経験者の割合をオッズとし、さらに文化部のオッズに対する運動部のオッズをオッズ比(注)として算出した。指導者からの暴力・暴言のうち「物を投げつけられる」「蹴られる」「物で殴られる」経験は文化部に比べて運動部では2倍以上生じており、「暴言を言われる」や「素手で殴られる」経験は2倍をやや下回った(表1)。上級生からの暴力・暴言については運動部では文化部よりも「素手で殴られ」たり「蹴られる」経験が突出して高く、それぞれ6.78倍、4.07倍であり、その他「物を投げつけられる」や「暴言を言われる」で2倍を上回った。

女子においては、上級生から素手で殴られる経

験が運動部では文化部よりも突出して高く6.86倍であり、その他指導者から「物で殴られる」「物を投げつけられる」「暴言を言われる」、上級生から「物を投げつけられる」で2倍を超えた(表2)。

男子では指導者による暴力・暴言に関しては5項目すべてで2倍を超え、それが文化部に比べて運動部で高い割合で生じている(表3)。上級生の言動では「素手で殴られる」(4.57)、「蹴られる」(5.81)、「暴言を言われる」(3.00)で高いオッズ比を示した。

注) この場合、オッズ比が1よりも高くなると文化部よりも運動部において暴力・暴言が高い割合で生じている状況を意味する。

4

運動部活動における暴力・暴言を受けた経験の性別による比較

表2と表3のうち運動部活動における暴力・暴言のみを取り出し、表4にその経験の割合を男女別で示した。女子よりも男子において各暴力・暴言を経験した割合が高い傾向を確認できる。一方で、指導者から「物を投げつけられる」経験率は男女で等しく、指導者から「暴言を言われる」のは女子に多い。カイ二乗検定の結果、指導者から「素手で殴られる」、上級生から「蹴られる」

「暴言を言われる」の3項目において有意な偏りが認められた。女子の割合に対する男子の割合を示すオッズ比をみると、指導者から「素手で殴られる」「蹴られる」経験が女子よりも男子で2倍以上多く、上級生の暴力・暴言においては「物を投げつけられる」以外の4項目すべてで男子の経験率が女子の2倍以上であった。

【表4】運動部活動における暴力・暴言を受けた経験の性別による比較

		女子(%) (n=296)	男子(%) (n=263)	χ^2 値	オッズ比
指導者から (n=559)	素手で殴られる	3.0	6.8	4.383*	2.34
	物で殴られる	5.1	5.7	0.111n.s.	1.13
	蹴られる	3.4	6.8	3.516n.s.	2.10
	物を投げつけられる	6.1	6.1	0.000n.s.	1.00
	暴言を言われる	18.9	16.3	0.631n.s.	0.84
		女子(%) (n=238)	男子(%) (n=197)	χ^2 値	オッズ比
上級生から (n=435)	素手で殴られる	2.9	6.1	2.561n.s.	2.14
	物で殴られる	1.3	3.0	1.695n.s.	2.46
	蹴られる	2.1	7.6	7.469*	3.84
	物を投げつけられる	2.1	4.1	1.428n.s.	1.97
	暴言を言われる	8.0	16.8	7.873**	2.32

*: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, ***: $p < 0.001$

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

5 まとめ

これらの結果をまとめると次のとおりである。

- ① 運動部では文化部に比べて指導者や上級生から暴力・暴言を経験する率が高く、この傾向は女子と男子において共通していた
- ② 運動部か文化部か、また指導者か上級生からかには関わらず、暴言を言われる経験率は暴力行為を受ける率よりも高かった
- ③ 運動部における暴力・暴言の経験率は、概して女子よりも男子において高かった
- ④ 運動部において男女ではほぼ同じ率で経験されていたのが「指導者から物を投げつけられる」であり、唯一、女子が男子よりも高い割合で経験していたのは、指導者からの暴言であった
- ⑤ 運動部において、女子では上級生よりも指導者から暴力的行為を受けるケースが多かったが、男子では指導者とほぼ同じ率で上級生から暴力・暴言を受けていた

◆調査概要

【調査時期】

2013年7月25日～7月29日

【調査対象】

母集団：全国の16～19歳までの男女

標本数：1,438人（男子34.5%、女子65.5%）

【調査方法】 インターネット調査

【調査内容】

過去1年間に、部活動やクラブ、サークル、教室などでの活動中に指導者および上級生から、①素手で殴られる、②物（棒や竹刀、スリッパ、ペットボトルなど）で殴られる、③蹴られる、④物を投げつけられる、⑤暴言を言われる、という暴力・暴言を受けた経験、目撃した経験があるかをたずねた。

【調査の特徴】

- ・ 体罰という言葉は使わず、具体的な暴力・暴言について質問した
- ・ 運動系部活動だけではなく文化系部活動も調査対象とした
- ・ 指導者だけではなく上級生による暴力行為についても質問した

【データ特性】

運動部系：全体43.0%、男子59.1%、女子34.6%

文化部系：全体57.0%、男子40.9%、女子65.4%

Comments

- 体罰という言葉をよく耳にしますが、スポーツに体罰はあってはならないと思います。スポーツ施設の充実よりも、指導者教育にもっと力を入れていただきたいです。
(12歳男子の母親)
- 以前、子どもが地域の青少年スポーツ団体に所属していた頃、指導者や一部の保護者により差別と思われる行為が度々あり、傷ついた経験があります。昨今、学校の部活などで体罰の問題が騒がれていますが、指導者のみならず、人の前に立つ大人は人（子ども）に平等であることを前提に、スポーツにおける競争の意味を正しく指導してほしいです。
(18歳女子の母親)
- 現在の子供達をとりまくスポーツ環境は非常に多様化していると感じます。選択肢も多く、とても良い環境ではないかと思いますが、その中には大人達の利害、利権が渦巻いている様子もうかがえます。もっと純粋にスポーツを楽しめる環境整備が望まれます。また、大人の古い考えや体質の払拭が暴力的指導、威圧的管理、いじめ等の問題を解決する方法の一つではないかとも考えます。
(19歳男子の母親)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013